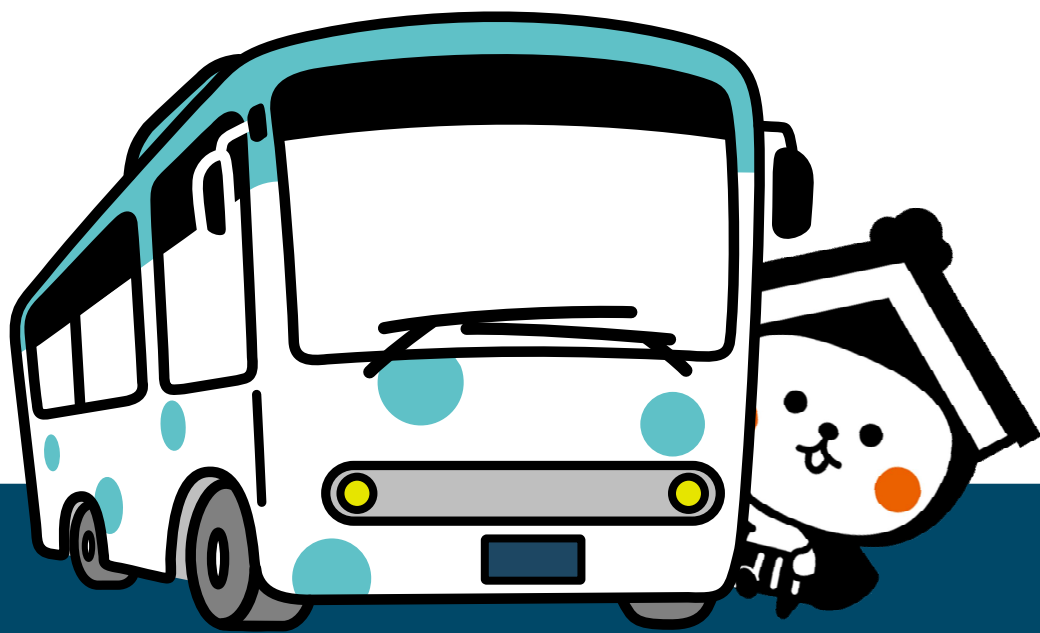


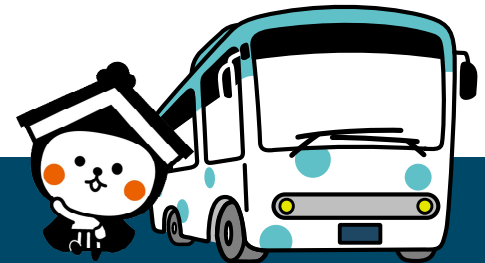
栃木市公共交通 ワークショップ 結果報告



栃木市 交通防犯課

ワークショップ概要

開催概要	栃木市における持続可能な地域公共交通を形成するため、ふれあいバスや蔵タクのニーズに即した運行に関する考え方や、公共交通のあり方についてまちづくりの視点から意見交換を行うワークショップを開催しました。
日時・場所	令和5年3月4日（土） 西方公民館 2階 大会議室
参加者	一般参加者：17名（10代～90代） 運行事業者：4名 （ふれあいバス・蔵タク運行事業者）
コーディネーター	宇都宮大学 地域デザイン科学部 准教授 阪田 和哉氏



グループワーク概要

テーマ①

日常生活での移動手段を考える

栃木市民のライフスタイルや、移動手段について

テーマ②

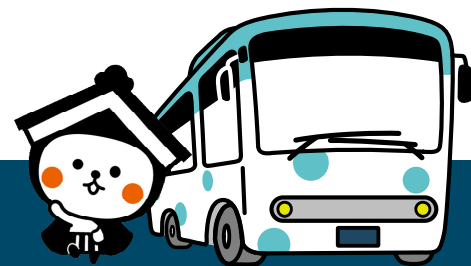
公共交通の魅力や問題点とは

栃木市内の各公共交通の魅力や改善点、役割分担や連携について

テーマ③

公共交通について実践したい取組み

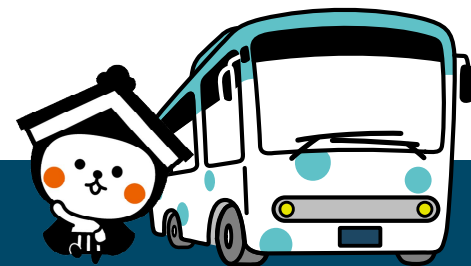
地域のより良い公共交通のために、
どのようなことから実践できるかについて



テーマ①

日常生活での移動手段を考える

自動車	・スーパー ・コンビニ ・大型商業施設 ・病院 ・職場 ・会議 ・観光 ・外食	バス	・学校 ・病院 ・職場 ・遊び
		タクシー	・病院 ・外食
		電車	・観光 ・塾 ・遊び
		徒歩	・別の交通手段まで



テーマ②

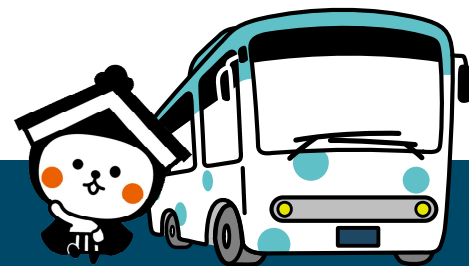
公共交通の魅力や問題点

魅 力

- ・ 蔵タクは当日予約可能
- ・ 家の前まで迎えに来てくれる
（蔵タク・一般タクシー）
- ・ 料金が安い
- ・ 大勢で乗ると楽しい
- ・ 車で行くより目的地に早く行ける
（電車）
- ・ 駅やバス停まで歩くので車移動より健康にいい

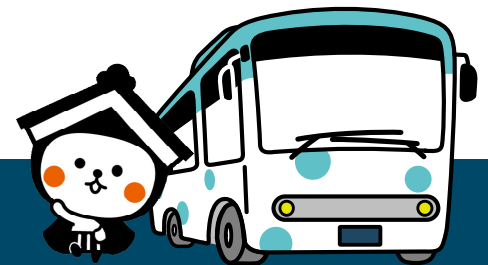
問 題 点

- ・ バス停まで遠い
- ・ バスの本数が少ない路線がある
- ・ 車で行くより目的地に着くまで時間がかかる（バス）
- ・ 人がいないところを通って遠回り
- ・ 時刻表が変わることがある
- ・ 運行経路が分かりにくい
- ・ 乗りたい時間にバスがない
- ・ 乗継ぎが面倒、難しい
- ・ 1日乗車券の存在が知られていない



テーマ③ 公共交通について実践したい取り組み

- バスの拠点となるターミナルを増やす
- バスの他路線との重複を減らして効率化させる
- 買い物専用バスの運行
- 自動運転やAIの活用
- 駐輪場の整備
- バス停のベンチを整備して高齢者にやさしく
- 待ち時間をつぶせる公共施設をつくる
- 自由乗降区間の拡大で利便性を向上させる
- 団体でバス市内散策を計画する
- 乗継しながら市内巡りをする

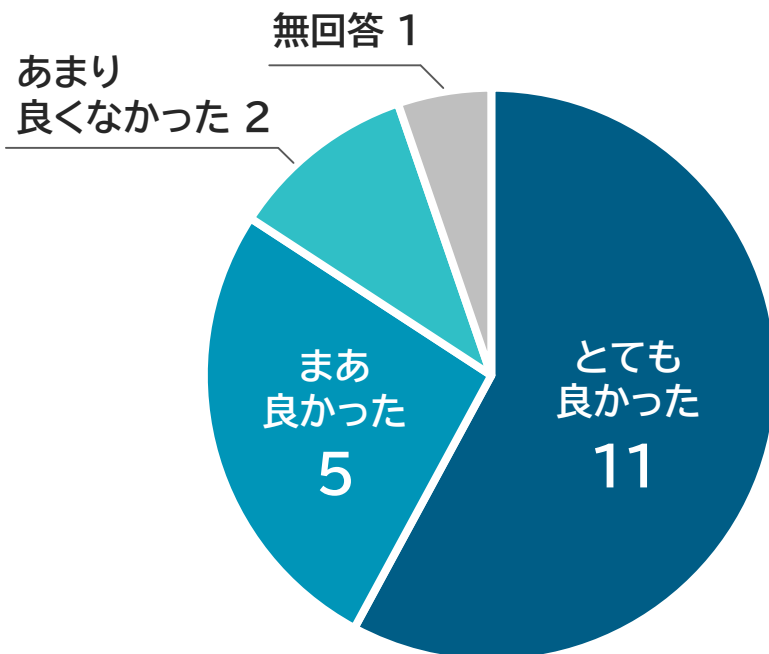


参加者アンケート結果

当日参加者21名(回収数19)

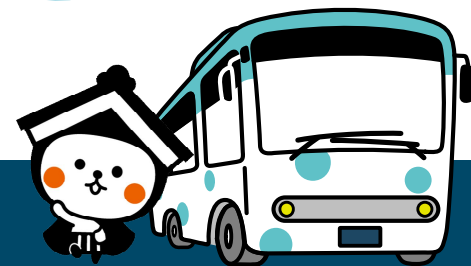
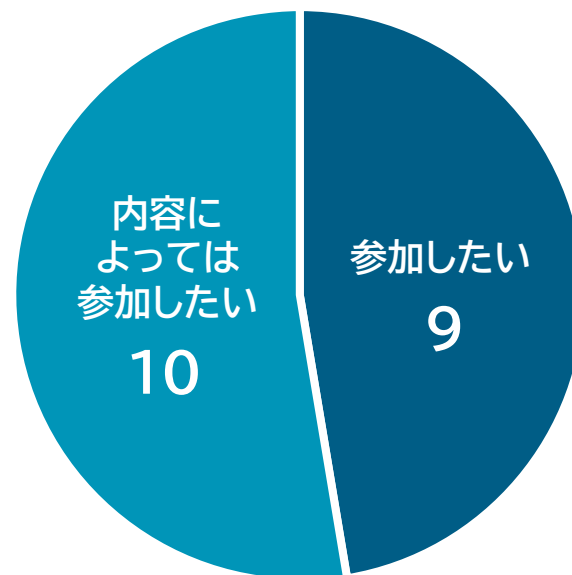
1

本日のワークショップは
いかがでしたか



2

また参加してみたいですか



参加者アンケート結果

3 ワークショップで良かった点を教えてください

- いろいろ活発な意見が出て良かった
- 公共交通の現状を知ることができた
- 多くの人の意見を知ることができて面白かった
- それぞれの地域の問題を知ることができた

4 ワークショップの改善点を教えてください

- ライフスタイルとふれあいバスの繋がりを知る機会にしてほしい
- このようなワークショップをこれからも開催してほしい
- もっと時間をかけて話し合いをした方がいい
- 参加者に事前にふれあいバスを利用してもらう

